

令和4年度

編入学生募集要項

(入学案内)
(出願書類添付)



独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校

National Institute of Technology(KOSEN), Fukui College

〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL (0778) 62-8290 (学生課直通)
FAX (0778) 62-2490 (学生課直通)
E-mail nyushi@fukui-nct.ac.jp

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合があります。変更がある場合は、本校ホームページにてお知らせしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

【本校ホームページ】 <https://www.fukui-nct.ac.jp/>

目 次

令和4年度編入学生募集要項

| | | |
|-----|----------------------------------|---|
| 1 | 募集学科, 募集人員及び編入学年, 日程 | 1 |
| 2 | アドミッション・ポリシー | 1 |
| 3 | 編入学者へのアドミッション・ポリシー | 2 |
| 4 | 選抜の基本方針 | 2 |
| 5 | 出願資格 | 2 |
| 6 | 出願手続 | |
| (1) | 出願受付 | 3 |
| (2) | 出願書類等 | 4 |
| (3) | 出願方法 | 5 |
| (4) | 受検票の交付 | 5 |
| 7 | 選抜方法等 | |
| (1) | 選抜方法 | 5 |
| (2) | 学力検査等の期日及び場所 | 5 |
| (3) | 学力検査等の時間 | 6 |
| 8 | 受検上の注意 | 6 |
| 9 | 学力検査科目の出題科目等 | 7 |
| 10 | 合格者の発表等 | 8 |
| 11 | 編入学確約書の提出 | 8 |
| 12 | 受検上の特別な措置や修学上の特別な配慮を必要とする場合の事前相談 | 8 |
| 13 | その他 | 8 |

入学案内

| | | |
|----|-----------------------------|----|
| 1 | 本校の概要 | 9 |
| 2 | 福井工業高等専門学校 ¹ の使命 | 9 |
| 3 | ディプロマ・ポリシー | 9 |
| 4 | カリキュラム・ポリシー | 11 |
| 5 | 編入学生の受入目的 | 15 |
| 6 | 教育課程 | 15 |
| 7 | 課外活動 | 15 |
| 8 | 編入学時に要する経費 | 15 |
| 9 | 入学料・授業料の免除及び徴収猶予 | 16 |
| 10 | 奨学制度 | 16 |
| 11 | 学生保険制度 | 16 |
| 12 | 学寮 | 16 |
| 13 | 卒業後の進路 | 17 |
| 14 | 入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて | 17 |

別表 教育課程表

| | | |
|-----|------|----|
| (1) | 一般科目 | 18 |
| (2) | 専門科目 | 19 |

出願書類用紙（綴じ込み）

編入学願書, 推薦書, 写真票・受検票, 振込依頼書

令和4年度編入学生募集要項

1 募集学科、募集人員及び編入学年、日程

| 募集学科 | 募集人員 | 編入学年 |
|---|--------------|------|
| 機械工学科 電気電子工学科 電子情報工学科 物質工学科 環境都市工学科 | 各学科とも 若干名 | 第4学年 |

| | |
|----------|-----------------------|
| 出願期間 | 令和3年8月23日（月）～8月25日（水） |
| 選抜期日 | 令和3年9月11日（土） |
| 合格者発表 | 令和3年9月17日（金） |
| 編入学確約書提出 | 令和3年10月1日（金）午後4時まで |

2 アドミッション・ポリシー

求める学生像（本科共通）

福井高専では、基礎学力が備わっていて、本校が目指すものづくり及び環境づくりに関する学習に興味があり、技術者としてグローバルな視野を持って産業の発展に貢献したいという気持ちを強く持ち、そのために新しい目標に向かっていつもチャレンジをし、仲間と共同して課題を考え解決する能力を身に付けようと積極的に行動できる人を求めます。

各学科の求める学生像

機械工学科

機械工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自動車、飛行機、ロボットなどの機械システムや、環境、福祉、宇宙工学などの分野に興味がある人
- (2) サイエンスを学び、ものづくりに創造性を発揮して、人間社会に貢献したい人
- (3) 機械を創る材料、動かすエネルギー、制御する情報など幅広い技術を身に付けたい人

電気電子工学科

電気電子工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 電気自動車や太陽光発電などに使われる環境にやさしいクリーンエネルギーや新素材技術を学びたい人
- (2) ロボット、システム、コンピュータなどを動かすための電子制御やプログラミング技術を学びたい人
- (3) 情報家電や光通信などに使用する電子回路や情報通信技術を学びたい人

電子情報工学科

電子情報工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) コンピュータの構造や仕組みに興味があり、高度なプログラミング技術を習得したい人
- (2) ネットワークを活用したり、AIロボットを動かすプログラムを作りたい人
- (3) 最先端のICTシステム・サービスの開発をやってみたい人

物質工学科

物質工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 化学と生物の力により人々の健やかな生活に貢献したい人
- (2) 化学的手法を用いて有用物質や新しい材料を生み出すことに興味がある人
- (3) 微生物や遺伝子組換え技術等の生物機能を活用した物質生産や環境浄化に興味がある人

環境都市工学科

環境都市工学科では、さらに次のような人を求めています。

- (1) 自然と共生したくらしを営む環境づくりに興味がある人
- (2) 快適なくらしを共有するための建物とまちづくりに興味がある人
- (3) 災害から人々のくらしを守るシステムづくりに興味がある人

3 編入学者へのアドミッション・ポリシー

本校準学士課程への編入学者に関しては上記の他に以下のポリシーを設けます。

- (1) 高等学校において理数系または工学の基礎を習得した人、または教育機関等において同様の学力を獲得したと認められる人
- (2) 希望する学科の教育目標・教育課程を十分に理解し、自主的・積極的に学業に取り組む姿勢を有する人

4 選抜の基本方針

編入学生の選抜

調査書、学力検査、作文及び面接の結果を総合的に評価して選抜します。

学力検査は、専門科目、数学、英語の3教科による試験とします。

5 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者で、在籍(出身)学校長が推薦する者とします。

- (1) 高等学校および中等教育学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 外国において12年の教育課程を修了した者（令和4年3月までに修了見込みの者を含む）
- (3) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（高等学校卒業程度認定試験に合格した者）

※ 出願資格 (2) 又は (3) で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、7月21日(水)までに本校入学試験係まで電話等により照会してください。
 ただし、出願できる学科と在籍(出身)学校における所属科との関係は、次のとおりです。

| 学 科 | 在籍(出身)学校における所属科 |
|---------------|-----------------|
| 機 械 工 学 科 | 機械工学に関する科 |
| 電 気 電 子 工 学 科 | 電気電子工学に関する科 |
| 電 子 情 報 工 学 科 | 所属科を問わない。 |
| 物 質 工 学 科 | 所属科を問わない。 |
| 環 境 都 市 工 学 科 | 土木工学又は建築学に関する科 |

6 出願手続

(1) 出願受付

| | |
|---------|--|
| 受 付 期 間 | 令和3年8月23日(月)から令和3年8月25日(水)まで |
| 受 付 時 間 | 午前9時から午後4時まで (郵送の場合は、8月25日(水)午後4時までに必着のこと。) |
| 受 付 場 所 | 独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校 学生課入学試験係 〒916-8507 鯖江市下司町 |

(2) 出願書類等

| 出 願 書 類 等 | 摘 要 |
|--------------------|--|
| 編 入 学 願 書 | 所定の用紙により，必要事項を記入してください。 |
| 推 薦 書 | 所定の用紙により，在籍(出身)学校長が作成したものとします。 |
| 調 査 書 | 在籍(出身)学校が定める様式により，在籍(出身)学校長が作成したものとします。 |
| 卒業証明書又は 卒業見込証明書 | 在籍(出身)学校が定める様式とします。 |
| 写真票・受検票 | 所定の用紙により，必要事項を本人が記入し，写真票の所定欄に写真を貼ってください。 写真は，令和3年4月以降に撮影したもので，上半身脱帽，正面向き，縦6cm，横4.5cmのものを貼ってください。 |
| 検 定 料 | 16,500円 ア 本校所定の振込依頼書により，志願者本人の名義で金融機関の窓口から振り込んでください。入学願書の検定料振込受付証明書（貼付場所）に検定料振込受付証明書を貼付してください。なお，振込時に別途必要な 振込手数料は入学志願者本人の負担 となります。 イ 振込受取書と検定料振込受付証明書は，金融機関の受領印があることを確認のうえ受け取ってください。 ウ 振込受取書は本人の控えとして，受検票が手元に届くまで大切に保管してください。 |
| 受検票送付用封筒 | 郵送で出願する場合は ，長形3号(120mm×235mm)の封筒に，志願者の住所，郵便番号及び氏名を記入し，374円分の切手(速達料金分)を貼ってください。 |

※ 受理した出願書類及び検定料は返還しません。

ただし，次の場合は検定料の返還請求ができます。

- (1) 検定料を払い込んだが，出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は受理されなかった）場合
- (2) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

・返還請求の方法

①返還請求の理由，②氏名(ふりがな)，③現住所，④連絡先電話番号，⑤振込口座の金融機関名，支店名，預金種別，口座番号，口座名義(志願者本人)を明記した「検定料

返還請求書」(様式自由)を作成し、「振込受取書」を添付して下記送付先へ速やかに郵送してください。(封筒には「返還請求書在中」と記入してください。)

なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

返還請求期限 令和4年2月25日(金)午後5時必着

送付先 〒916-8507 鯖江市下司町 独立行政法人国立高等専門学校機構
福井工業高等専門学校総務課財務係

※災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受検生への特例措置として検定料免除を行います。

- ・免除申請を希望する場合は、出願書類とともに「検定料免除申請書」に「り災証明書」を添付し提出してください。また、検定料の払い込みは行わないでください。検定料の払い込みをした場合は、還付の申し出が必要となります。
- ・「検定料免除申請書」は、学生課入学試験係にあります。
本校ホームページ (<https://www.fukui-nct.ac.jp/examination/middle-school/>) から様式をダウンロードして申請いただいても結構です。

(3) 出願方法

出願者は、前記(2)の出願書類等を**在籍(出身)学校を經由して提出**してください。

なお、**郵送の場合**は、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きし、必ず「書留郵便」にしてください。

(4) 受検票の交付

- ① 出願書類等を持参により受理したときは、その場で交付します。
- ② 出願書類等を郵送により受理したときは、受検票送付用封筒により郵送します。
なお、受検票が願書受付締切日から3日間を過ぎても、届かないときは、学生課入学試験係に照会してください。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

編入学生の選抜は、学力検査(作文を含む。)、調査書及び面接の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査等の期日及び場所

| | |
|-----|--|
| 期 日 | 令和3年9月11日(土) |
| 場 所 | 福井工業高等専門学校 鯖江市下司町 (裏表紙の「本校の位置と利用交通機関等」参照) |

(3) 学力検査等の時間

| 専門科目 | 数 学 | 英 語 | 作 文 | 面 接 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|---------|
| 9:00 ~ 10:40 | 11:00 ~ 12:20 | 13:10 ~ 14:00 | 14:15 ~ 14:55 | 15:25 ~ |

8 受検上の注意

- (1) 当日は、午前8時30分までに、学力検査室（専攻科棟）に集合してください。
- (2) 検査開始後、20分を経過した場合は、原則として受検できません。また、1科目でも受検しないと受検資格を失います。
- (3) 受検者は、受検票、筆記用具、昼食を持参してください。
なお、受検票を紛失した場合は、必ず受付に届け出て指示を受けてください。
- (4) 上履きは、必要ありません。

9 学力検査科目の出題科目等

| 学力検査科目等 | | 出題科目 | 出題範囲 |
|------------------|---------------------------------|---|---|
| 一般科目 | 数 学 | 数 学 I | データの分析は除く。 |
| | | 数 学 II | 全範囲 |
| 数 学 B | | ベクトルと数列のみ | |
| | 英 語 | コミュニケーション英語I | 全範囲 |
| 専 門 科 目 | 機 械 工 学 科 | 機 械 設 計 | 機械に働く力と運動，機械に与えられたエネルギーと仕事及び動力の関係，材料の強さ，機械要素と装置 |
| | | 機 械 工 作 製 図 | 機械材料，各種の工作法 製図の基礎，機械分野の製図・設計製図 |
| | | 電 気 基 礎 | 直流回路，電気と磁気，静電気，電磁誘導，交流回路(三相交流を除く。) |
| | 電 気 電 子 工 学 科 | 電 子 回 路 | 電子回路 |
| | | 物理基礎・物理 | 電気・電子に関すること。 |
| | 出題範囲の中から選択解答する。 | | |
| | 電 子 情 報 工 学 科 | 情報技術基礎 | ハードウェア，ソフトウェア，プログラミング } 直流回路，磁気と静電気，交流回路 |
| | | 電 気 基 礎 物 理 | |
| | 出題範囲の中から選択解答する。 | | |
| | 物 質 工 学 科 | 物 理 基 礎 | 全範囲 |
| 物 理 | | 電気と磁気を除く。 | |
| 化 学 基 礎 | | 全範囲 | |
| 化 学 | | 全範囲 | |
| 環 境 都 市 工 学 科 | 測 量 | 写真測量を除く。 | |
| | 構 造 力 学 | 構造物と力，梁の外力，梁の内力，梁に生じる応力 | |
| | 水理学・土質力学 | 水の物理的性質，静水圧，水の流れ，管水路，開水路，土の基本的性質，土中の水の流れ，地中の応力，土の圧密 | |
| | 建 築 計 画 | 建築と環境，住宅の計画，建築の移り変わり | |
| | 水理学・土質力学と建築計画については，どちらかを選択解答する。 | | |
| 作 文 | 課題を与える。 | | |

(備考) *専門科目で，電卓が必要な場合は貸与します(CASIO fx-260A)。

10 合格者の発表等

- (1) 合格者の発表は、令和3年9月17日（金）午後1時に、本校に掲示するとともに、本校ホームページ上でも発表します。（<https://www.fukui-nct.ac.jp/>）
- (2) 在籍（出身）学校長には、合格者の合格通知書を添えて、同日付けで郵送により選抜の結果を通知します。

11 編入学確約書の提出

合格者は、在籍（出身）学校長の確認を得て、編入学確約書を令和3年10月1日（金）午後4時までに学生課入学試験係へ提出してください。

なお、期限までに、編入学確約書を提出しない場合は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

12 受検上の特別な措置や修学上の特別な配慮を必要とする場合の事前相談

心身に障がいがある場合等、解答方法や座席配置等について、受検上特別な措置が必要な場合、また入学後、修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願前に本校学生課入学試験係へご相談ください。

なお、事前相談後、健康診断書等を提出していただく場合がありますので、ご了承ください。

13 その他

- (1) 提出した書類の記載事項の変更は、認めません。
- (2) 提出した書類に事実と相違した記載があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

入学案内

1 本校の概要

本校は中学校卒業生を受入れ、早期から5年一貫の技術教育を行い、多様化、グローバル化した社会に貢献できる実践的技術者を育成する国立の高等教育機関です。本校では技術教育を行って技術立国を担い日本の未来を拓く有能なエンジニアを養成します。

本校卒業時には「準学士」と称することができます。さらに高度な科学技術の教育と密度の濃い研究指導を希望する学生のために、専攻科が設置されており、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を経て、「学士（工学）」の学位を取得することができます。

本校では「環境生産システム工学」教育プログラムが編成されており、このプログラムを本科4、5年と本校専攻科で履修することにより、社会の要求水準を満たした教育を受けたことが証明されます。

2 福井工業高等専門学校使命

(1) 基本理念

優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する。

(2) 教育方針

- ・技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- ・個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する。
- ・教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する。
- ・健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する。
- ・規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る。

3 ディプロマ・ポリシー

福井高専は、「優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者を育成する」ために、次に掲げる人材を養成することを目的としています。

- 一、地球環境に配慮できる社会的責任感と倫理観を持った技術者（人間性）
- 一、科学技術の進歩を的確に見通す工学的素養を持った技術者（専門性）
- 一、調和と協調を意識して、国際的に活躍できる技術者（国際性）
- 一、幅広い知識を応用・統合し、豊かな発想力と実践力で問題解決できる技術者（創造性）

この目的を達成するために、卒業時点において学生が身に付けるべき能力（学習教育目標）を下記のように定めています。これら能力の獲得と本校各学科の教育課程に規定する所定単位（独立行政法人国立高等専門学校機構の「モデルコアカリキュラム」に基づいた各学科の教育課程表を参照してください。）の修得をもって、人材像の達成とみなし、福井高専の卒業を認定し、準学士（工学）と称することを認めます。

福井高専の学生が卒業時点において身につけるべき能力（教育目標）

- RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- RB 数学とその他の自然科学，及び専門分野におけるものづくり，環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。
- RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。
- RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

機械工学科

機械工学科では，次の内容を教育目標として加えています。

ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな機械技術者となるために，機械技術者として必要な基礎学力，技術革新・高度情報化社会に対応できる能力，実践的能力および論理的思考能力を身に付ける。

電気電子工学科

電気電子工学科では，次の内容を教育目標として加えています。

ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな電気電子技術者となるために，電気電子技術者に必要な専門的かつ総合的な基礎力，幅広い専門分野に適応できる応用力，独創力およびコミュニケーション能力を身に付ける。

電子情報工学科

電子情報工学科では，次の内容を教育目標として加えています。

情報化社会の基盤となるハードウェア，ソフトウェア，ネットワーク及びコンピュータ制御技術で，種々の問題を解決できる有能な技術者となるために，電気電子工学及び情報工学の技術者として必要な基礎的な学力と能力，変化する IT 社会に対応できる応用力，実験実習や卒業研究をとおした実践的能力や創造能力，及びコミュニケーション能力を身に付ける。

物質工学科

物質工学科では，次の内容を教育目標として掲げています。

論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな化学技術者となるために，必要な知識と技術に加えて，材料工学または生物工学の分野における専門的能力を身に付ける。

環境都市工学科

環境都市工学科では，次の内容を教育目標として加えています。

社会資本を持続可能にする土木技術者と建築技術者となるために，それらの技術者に必要な基礎的な学力と能力，幅広い専門分野の理論に関する応用力，実験実習や卒業研究を通じた実践力と創造力を身に付ける。

学際領域課科目群

多様化する現代社会に通用する技術者となるために、本校全専門学科の教育課程の中に学際領域科目群を設け、次の内容を教育目標としています。

自分の専門分野の幅を広げ融合複合型の考え方を持った技術者となるため、他の工学分野の基礎的な学力と能力を身に付ける。さらに、自ら問題を解決し、問題解決のアイデアを提案することで、創造性、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等の分野横断的な能力の基礎を身に付ける。

4 カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を育成するために、福井高専では、独立行政法人国立高等専門学校機構の定めた「モデルコアカリキュラム」を各学科において適正に配置し、「ものづくり」と「環境づくり」ができる技術者として、生涯にわたって自己研鑽ができる学習能力を身に付けた卒業生を社会に輩出するために、本校の教育理念で求める人材の育成を行います。

【教育課程編成の考え方】

- ① 学年進行とともに専門科目が多くなる「くさび形」カリキュラムであり、人間性と専門性を養成するために、専門科目と一般科目を連携させて科目を配置する。
- ② 創造性を引き出し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養成するための演習科目及び実験科目を多く配置する。
- ③ 多様化する現代社会に対応できる技術者となるために、他学科の科目も履修可能な学際領域科目群を3学年から配置する。
- ④ 国際的な視点をもった技術者となるために、コミュニケーション基礎能力を養成するための科目を配置する。
- ⑤ 実践的能力と論理的思考能力を養成するための総合的な科目を最終学年に配置する。

【学際領域科目群について】

学際領域科目群は、環境・エネルギー群、情報・制御群、材料科学群の3群からなり、学生は、これら3群から1群を選択し、自分の専門分野の幅を広げることができます。具体的には、以下の方針のもとに各群の教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 融合複合された各群専門分野の基礎能力を育成するために、学際領域科目群に分野横断型科目を選択科目として配置する。
- ② 創造性、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、チームワーク力等、分野横断的な能力の基礎を育成するために、PBL型・学科横断型グループ学習の科目を必修科目として配置する。

【評価方法】

各学科の教育課程における各科目の単位認定は、定期試験、レポート、口頭発表等、多様な方法を用いて評価します。合否基準は60点と設定しており、合格した者には所定の単位が与えられます。

機械工学科

機械工学科では、上記の方針に則り、ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな機械技術者を養成するために、具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 1 学年では、機械工学の導入レベルの能力を育成するために、力学、情報処理およびものづくりに関する科目を配置する。
- ② 2, 3 学年では、機械工学の基礎的な能力を育成するために、工作法、材料学、材料力学、流体力学および情報・制御などに関する科目を配置する。
- ③ 4, 5 学年では、機械工学の応用的な能力を育成するために、材料力学、熱・流体力学、機械システム、計測制御および機械系情報処理などに関する科目を配置する。
- ④ 1～5 学年を通して、デザインマインド、実践的能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を育成するために、設計製図、工作実習および機械工学実験などの科目を配置する。さらに、問題解決能力・プレゼンテーション能力を育成するために、5 学年に卒業研究を配置する。

電気電子工学科

電気電子工学科では、上記の方針に則り、ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな電気電子技術者を養成するために、具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 1 学年では、電気電子工学の導入レベルの能力を育成するために、電気基礎、情報処理、ものづくりの科目を配置する。
- ② 2, 3 学年では、電気電子工学の基礎的な能力を育成するために、電気回路、電気磁気学、電子回路、情報処理などに関する科目を配置する。
- ③ 4, 5 学年では、電気電子工学の応用的な能力を育成するために、電気回路、電気磁気学、電気機器、発変電工学、情報処理システムなどに関する科目を配置する。
- ④ 1～5 学年を通して、実践的能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を育成するために、電気電子工学実験などの科目を配置する。さらに、問題解決能力・プレゼンテーション能力を育成するために、5 学年に卒業研究を配置する。

電子情報工学科

電子情報工学科では、上記の方針に則り、ものづくりのための基礎的知識や技術を身につけた創造性豊かな電子情報技術者を養成するために、具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 1 学年では、電気電子工学と情報工学の導入レベルの能力を育成するために、電気基礎、情報基礎、リテラシーおよびものづくりに関する科目を配置する。
- ② 2, 3 学年では、電気電子工学と情報工学の基礎的な能力を育成するために、電気電子回路やハードウェア、ソフトウェア、ネットワークに関する基礎的な科目を配置する。

- ③ 4, 5 学年では、電気電子工学と情報工学の応用的な能力を育成するために、電磁気などの電気電子工学系科目と、情報理論、システム構築、人工知能などに関する科目を配置する。
- ④ 1～5 学年を通して、実践的能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を育成するために、電子情報実験、創造工学演習などの科目を配置する。さらに、問題解決能力・プレゼンテーション能力を育成するために、5 学年に卒業研究を配置する。

物質工学科

物質工学科では、上記の方針に則り、化学的視点から材料工学あるいは生物工学を学び、より良い社会を実現するために貢献できる化学技術者を養成します。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 1 学年では、ものづくりや情報処理の導入レベルの能力を育成するために、専門基礎等に関する科目を配置する。
- ② 2, 3 学年では、物質工学の基礎的な能力を育成するために、無機化学、有機化学、物理化学、化学工学、分析化学、生化学、情報化学等に関する科目を配置する。
- ③ 4, 5 学年では、物質工学の専門性を深化させて材料工学あるいは生物工学の応用的な能力を育成するために、無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、化学工学、生化学、情報化学等に関する科目に加え、材料工学コースでは材料に関する科目、生物工学コースでは生物に関する科目を配置する。
- ④ 1～5 学年を通して、実践的能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を育成するために、実験などの科目を配置する。さらに、問題解決能力・プレゼンテーション能力を育成するために、5 学年に卒業研究を配置する。

環境都市工学科

環境都市工学科では、上記の方針に則り、社会資本を持続可能にする土木技術者と建築技術者を養成するために、具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

- ① 1 学年では、環境都市工学の導入レベルの能力を育成するために、測量、情報処理、製図などの科目を配置する。
- ② 2, 3 学年では、環境都市工学の基礎的な能力を育成するために、構造・水・土の力学、計画、材料、衛生、測量、プログラミングなどに関する科目を配置する。
- ③ 4, 5 学年では、環境都市工学の応用的な能力を育成するために、鋼及びコンクリート構造、河川、交通、施工管理、法規、建築の環境・設備・計画、数値解析などに関する科目を配置する。
- ④ 1～5 学年を通して、実践的能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を育成するために、設計製図と実験実習などの科目を配置する。さらに、問題解決能力・プレゼンテーション能力を育成するために、5 学年に卒業研究を配置する。

一般科目教室自然科学系

一般科目教室自然科学系では、幅広い教養と専門科目に必要となる数学、理科（物理、化学、生物）の基礎的な知識、技能の修得に加え、生涯にわたって活力あふれる生活を営める人材を育成します。具体的には以下を教育方針に基づいて教育課程を編成し、教育を実践しています。

低学年（1年～2年）

数学科では、数学の基礎的な知識と計算技能を身に付け、数学的論理を通して思考力、表現力を育成するために、解析および代数分野の基礎的な科目を配置する。

物理科では、力学、波動、電気現象を抽象的に記述できる能力を育成するために、物理基礎、物理の科目を配置する。

化学科では、自然や生活環境における化学の基本的な概念や原理・法則を理解できる能力を、生物科では、生命科学の基本概念を理解できる能力を育成するための科目を配置する。

保健体育科では、種々のスポーツを各自の体力やスキルに応じて実施できる能力を育成するための科目を配置する。

高学年（3～5年）

数学科では、現象を数学的にとらえ、問題を解決する能力を育成するために、解析および代数分野の応用的な科目と確率統計の基礎的な科目を配置する。

物理科では、物理現象への理解をさらに深め、工学への応用力を育成するために、応用物理の科目を配置する。

保健体育科では、自己の体力を的確にとらえ、生涯にわたって主体的に運動を継続するための能力と、健康管理の一環として生活習慣病の予防について理解できる能力を育成するための科目を配置する。

一般科目教室人文社会科学系

一般科目教室人文社会科学系では、豊かな教養とコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成します。具体的には以下を教育方針として教育課程を編成し、教育を実践しています。

低学年（1～2年）

国語科では、小説・随筆といった、日常的ないし過去の時代から受け継がれている言語作品に触れ、その読解および鑑賞に習熟し、さらにその題材の選び方や技法を自らの表現法として会得できる能力を育成するための、国語の分野に関する基礎的な科目を配置する。

社会科では、社会の地域的特色と歴史的背景を理解し、人間の在り方や生き方について把握する能力を育成するために、歴史や倫理などを学ぶ科目を配置する。

英語科では、4技能の調和に基づく実践的なコミュニケーションの基礎能力を育成するための科目を配置する。

高学年（3～5年）

国語科では、すぐれた現代文を読み味わうとともに、手紙から意見文に至る実用的かつ

社会とつながる文章の作法や読解法を習得するといった、国語分野に関する実践的な科目を配置する。さらに、意欲に応じて日本語学・国文学の所産とその方法論に触れ、学術的な見識を高めるための科目や、これまで学んできた基礎を応用した文章作成能力、口頭能力を育成するための科目を配置する。

社会科では、現代の政治や経済、国際関係などを理解し、社会の変化の本質を批判的に認識できる能力を育成するために、政治や法、経済などを学ぶ科目を配置する。

英語科では、より深い読解能力、聴解能力の養成を中心に、総合的なコミュニケーション能力を育成するための科目を配置する。

5 編入学生の受入目的

高等専門学校は、大学と同様の高等教育機関で、5年間の一貫教育により、深く専門の学芸を教授し、豊かな教養と高度な専門技術を身に付けた技術者を養成することを目的としています。

本校の編入学制度は、こうした高等専門学校設立の趣旨に鑑み、高度の技術習得の機会を高等学校等の卒業者にも等しく与えようとするものです。

6 教育課程

教育課程は、一般科目（各学科共通）及び専門科目に分かれ、各学科ごとの授業科目、単位等は、別表のとおりであり、編入学生は、第3学年までの単位は修得したものとし、第4・5学年の授業科目を履修します。

なお、別表の教育課程表は令和4年度編入学生対象のもので、改訂されることがあります。

7 課外活動

健全な精神と健康な肉体を養い、更に豊かな人間性を養い、楽しい学生生活を送るため、課外活動を奨励しています。

8 編入学時に要する経費

| 費 目 | | 金 額 | 備 考 |
|-----------------------|----------------------|---------------|-------------------|
| 入 学 料 | | 84,600円(予定額) | |
| 授 業 料 | | 117,300円(予定額) | 前期分(年額 234,600円) |
| その 他の 必要 経 費 | 教科書代等 | 35,000円 | 概算 |
| | 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 | 1,550円 | 年額 |
| | 学生会会費 | 7,000円 | 年額 |
| | 諸経費 | 22,000円 | 前期分(後期以降 12,000円) |

(注) 規則が改正された場合は、金額が変更になることがあります。
在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

9 入学料・授業料の減免及び徴収猶予

令和2年4月より高等教育の修学支援新制度が開始され、対象となる学生は、入学料と授業料の免除または減額、及び原則返還が不要な給付型奨学金の受給が受けられます。

また、経済的理由により、納付期限までに入学料・授業料納付が著しく困難であると認められる場合には、選考機関の議を経て、徴収を猶予することがあります。

10 奨学制度

日本学生支援機構や地方公共団体、各奨学育英団体等の奨学金制度があります。

詳しくは、本校学生課学生生活係にお問い合わせください。

11 学生保険制度

授業又は課外活動中の不測の事故に対し、医療費、災害見舞金等の給付を受ける日本スポーツ振興センター災害共済があります。これには、本校の学生は全員加入しています。

12 学 寮

自宅からの通学が困難な者のため、定員248人（うち女子55人、留学生16人）の学寮が校内に設置されており、申請に基づき選考の上、入寮が許可されます。なお、入寮経費は次のとおりです。

| 費 目 | | 金 額 | 備 考 |
|--------------|------------|---------|--------------|
| 寄宿料（1人室） | | 800円 | 月額（相部屋 700円） |
| その他の 必要経費 | 寮 費（光熱水費等） | 6,000円 | 月額 |
| | 食 費 | 24,000円 | 月額（概算） |
| | エアコンリース代 | 1,900円 | 月額 |
| | 食 器 代 | 4,400円 | 入寮時のみ |
| | 寮生会費 | 2,000円 | 年額 |

（注）個人で使用した電気料は別途必要となります。

13 卒業後の進路

(1) 就 職

卒業生は、産業界、官公庁等の広い分野において、大学卒業者と同一ような職種に従事し、優れた技術者として高い評価を得て活躍しています。

(2) 進 学

進学を希望する者に対しては、本校を含めて高等専門学校に設置されている専攻科（本科卒業後の2年課程）への進学や大学の3年次への編入学の制度があり、本校卒業生もこれらの制度を利用して、最近3か年では、208名の者が進学しています。

なお、令和2年度卒業の進学者数は63名で、進学先は次のとおりです。

福井工業高等専門学校専攻科、東北大学、茨城大学、宇都宮大学、千葉大学、東京農工大学、長岡技術科学大学、福井大学、信州大学、岐阜大学、名古屋大学、豊橋技術科学大学、三重大学、九州大学、東京都立大学

14 入学者選抜に関する個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜や本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究のために利用するとともに、合格者に対しては、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校教育後援会及び同窓会の事務

教 育 課 程 表

*教育課程表は令和4年度編入学生対象のもので、改訂されることもあります。

(1) 一 般 科 目

各 学 科 共 通

| 授 業 科 目 | | 単 位 数 | 学 年 別 配 当 | | | | | 備 考 | |
|--|---------------------|-------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-------------------|---------|
| | | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | | |
| 必 修 科 目 | 国 語 | 国 語 I | 2 | 2 | | | | | 留学生は対象外 |
| | | 国 語 II | 2 | | 2 | | | | |
| | | 国 語 III | 2 | | | 2 | | | |
| | | 国 語 表 現 | 2 | | | | 2 | | |
| | 社 会 | 公 共 社 会 I | 2 | | 2 | | | | 留学生は対象外 |
| | | 公 共 社 会 II | 1 | | | 1 | | | |
| | | 公 共 社 会 III | 1 | | | 1 | | | |
| | | 歴 史 I | 2 | 2 | | | | | |
| | 数 学 | 歴 史 II | 2 | | 2 | | | | |
| | | 地 理 I | 1 | 1 | | | | | |
| | | 地 理 II | 1 | 1 | | | | | |
| | | 基 礎 解 析 A | 4 | 4 | | | | | |
| | | 基 礎 解 析 B | 3 | 3 | | | | | |
| | | 解 析 I | 4 | | 4 | | | | |
| | | 線 形 代 数 | 2 | | 2 | | | | |
| | | 解 析 II | 3 | | | 3 | | | |
| | | 解 析 III | 2 | | | | 2 | | |
| | | 物 理 基 礎 | 2 | 2 | | | | | |
| | 理 科 | 物 理 | 3 | | 3 | | | | |
| | | 化 学 I | 2 | 2 | | | | | |
| | | 化 学 II | 2 | | 2 | | | | |
| | | 生 物 学 | 1 | 1 | | | | | |
| | 保 健 体 育 | 保 健 体 育 I | 4 | 4 | | | | | |
| | | 保 健 体 育 II | 2 | | 2 | | | | |
| | | 保 健 体 育 III | 2 | | | 2 | | | |
| | | 生 涯 ス ポ ー ツ 実 習 | 2 | | | | 2 | | |
| | 芸 術 | 美 術 | 1 | | 1 | | | | |
| | | 音 楽 | 1 | 1 | | | | | |
| | 外 国 語 | 英 語 I | 4 | 4 | | | | | 留学生は対象外 |
| | | コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン | 2 | 2 | | | | | |
| 英 語 II | | 4 | | 4 | | | | | |
| 英 語 III | | 4 | | | 4 | | | | |
| 英 語 IV | | 2 | | | | 2 | | | |
| 英 語 V | | 2 | | | | | 2 | | |
| 工 学 | 第 2 外 国 語 I | 2 | | | | 2 | | 留学生は対象外 | |
| | 学 倫 理 | 1 | | | | | 1 | | |
| 修 得 単 位 計 | | 79 | 29 | 24 | 13 | 10 | 3 | | |
| 選 択 必 修 科 目 | 第 2 外 国 語 II | 1 | | | | | 1 | 2 単位以上修得 する こと | |
| | 第 2 外 国 語 III | 1 | | | | | 1 | | |
| | 言 語 文 化 特 講 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 日 本 語 表 現 演 習 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 日 本 文 学 論 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 哲 学 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 歴 史 学 特 講 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 数 学 特 講 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 英 語 特 講 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 他 大 学 等 科 目 (一 般) | 1 | | | | | 1 | | |
| 修 得 単 位 計 | | 2以上 | | | | | 2以上 | | |
| 修 得 単 位 合 計 (卒 業 認 定 必 要 単 位 数) | | 81以上 | 29 | 24 | 13 | 10 | 5以上 | | |
| 外 国 人 留 学 生 修 得 単 位 計 | | 73以上 | 29 | 24 | 9 | 6 | 5以上 | | |
| 特 設 科 目 (必 修) | 日 本 語 I | 2 | | | 2 | | | 留学生のみ対象 | |
| | 日 本 語 II | 2 | | | | 2 | | | |
| | 基 礎 数 学 | 2 | | | 2 | | | | |
| | 基 礎 物 理 | 2 | | | 2 | | | | |
| 修 得 単 位 計 | | 8 | | | 6 | 2 | | | |
| 外 国 人 留 学 生 修 得 単 位 合 計 (卒 業 認 定 必 要 単 位 数) | | 81以上 | 29 | 24 | 15 | 8 | 5以上 | | |

(2) 専門科目

機械工学科

| 授業科目 | | 単位数 | 学年別配当 | | | | | 備考 |
|-------------------|------------|------------|-------|----|------|------|-------------|-------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | |
| 必修科目 | 数理統計学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 応用数学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | | |
| | 応用物理Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 専門基礎Ⅰ | 2 | 2 | | | | | |
| | 専門基礎Ⅱ | 2 | 2 | | | | | |
| | 専門基礎Ⅲ | 2 | 2 | | | | | |
| | C言語基礎 | 1 | | 1 | | | | |
| | C言語応用 | 1 | | | 1 | | | |
| | 機械計算力学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 材料学Ⅰ | 1 | | 1 | | | | |
| | *材料学Ⅱ | 2 | | | 2 | | | |
| | 機械工作法Ⅰ | 2 | | 2 | | | | |
| | 機械工作法Ⅱ | 1 | | | 1 | | | |
| | 材料力学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | |
| | 材料力学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 熱力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | *伝熱工学 | 1 | | | | | 1 | |
| | 流れ学Ⅰ | 1 | | | 1 | | | |
| | 流れ学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 工業力学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 機構学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 機械設計法 | 2 | | | | 2 | | |
| | *自動制御Ⅰ | 1 | | | | | 1 | |
| | 振動工学Ⅰ | 1 | | | | | 1 | |
| | *センサ工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 電気工学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 電子工学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 機械製図 | 4 | | 4 | | | | |
| | 機械設計製図Ⅰ | 3 | | | 3 | | | |
| | 機械設計製図Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | CAD・CAE | 1 | | | | | 1 | |
| 機械工作実習Ⅰ | 4 | | 4 | | | | | |
| 機械工作実習Ⅱ | 3 | | | 3 | | | | |
| メカトロニクス実習 | 1 | | | 1 | | | | |
| 知能機械演習 | 2 | | | | 2 | | | |
| 機械工学実験Ⅰ | 2 | | | | 2 | | | |
| 機械工学実験Ⅱ | 2 | | | | | 2 | | |
| 卒業研究 | 9 | | | | | 9 | | |
| 修得単位計 | 78 | 6 | 12 | 20 | 24 | 16 | | |
| 選択科目 | 材料力学Ⅲ | 1 | | | | 1 | 7単位中5単位以上修得 | |
| | *熱機関 | 1 | | | | 1 | | |
| | *流体機械 | 1 | | | | 1 | | |
| | 自動制御Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | 振動工学Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | システム工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | *材料科学 | 1 | | | | 1 | | |
| 修得単位計 | 5以上 | | | | | 5以上 | | |
| 学際カリキュラム | 必修科目 | プロジェクト演習 | 1 | | | 1 | 群別に修得すること | |
| | 環境・エネルギー群 | 熱流体エネルギー概論 | 1 | | 1 | | | 2単位以上修得すること |
| | | 電力エネルギー工学 | 1 | | 1 | | | |
| | | 電磁場エネルギー基礎 | 1 | | | | | 1 |
| | | 環境科学 | 1 | | | | | 1 |
| | | 環境保全工学 | 1 | | | 1 | | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 情報・制御群 | # ロボットシステム | 1 | | | | | 1 |
| | | 電子計測制御 | 1 | | | | | 1 |
| | | 情報・制御基礎 | 1 | | 1 | | | |
| | | コンピュータ化学 | 1 | | | 1 | | |
| | | 空間情報工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 材料科学群 | 機械材料 | 1 | | | 1 | | |
| | | 電気電子材料 | 1 | | 1 | | | |
| | | センサ材料工学 | 1 | | | | | 1 |
| | | 有機・高分子材料 | 1 | | 1 | | | |
| | | 建設材料 | 1 | | | | | 1 |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 修得単位計 | 2以上 | | | | 2以上 | | |
| 修得単位計 | 3以上 | | | | | 3以上 | | |
| 修得単位合計(卒業認定必要単位数) | 学際カリキュラム除く | 86以上 | 6 | 12 | 20以上 | 24以上 | 21以上 | |
| | 学際カリキュラム含む | | | | | 68以上 | | |

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科

| 授業科目 | | 単位数 | 学年別配当 | | | | | 備考 | |
|--------------------------|-------------|------------|-------|----|------|------|------|-------------|-------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | | |
| 必修科目 | 数理統計学 | 2 | | | 2 | | | | |
| | 応用数学 | 2 | | | | 2 | | | |
| | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | |
| | 応用物理Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | |
| | 専門基礎Ⅰ | 2 | 2 | | | | | | |
| | 専門基礎Ⅱ | 2 | 2 | | | | | | |
| | 専門基礎Ⅲ | 2 | 2 | | | | | | |
| | 電気磁気学Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | |
| | 電気磁気学Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | |
| | 電気磁気学Ⅲ | 1 | | | | 1 | | | |
| | 電気数学 | 1 | | 1 | | | | | |
| | 電気回路Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | |
| | 電気回路Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | |
| | 電気回路Ⅲ | 2 | | | | 2 | | | |
| | 電気回路Ⅳ | 2 | | | | | 2 | | |
| | 電気回路演習 | 2 | | 2 | | | | | |
| | 計測工学 | 2 | | | 2 | | | | |
| | 電子工学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | |
| | *電子工学Ⅱ | 1 | | | | 1 | | | |
| | *電子工学Ⅲ | 1 | | | | | 1 | | |
| | 電子回路Ⅰ | 1 | | | 1 | | | | |
| | 電子回路Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | |
| | 情報処理Ⅰ | 1 | | 1 | | | | | |
| | 情報処理Ⅱ | 1 | | | 1 | | | | |
| | 情報処理システム論Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | |
| | *情報処理システム論Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | |
| | 情報通信工学Ⅰ | 2 | | | | 2 | | | |
| | 電気機器 | 2 | | | | 2 | | | |
| | 発変電工学 | 2 | | | | 2 | | | |
| | *電力系統工学 | 1 | | | | | 1 | | |
| | パワーエレクトロニクス | 1 | | | | | 1 | | |
| | 制御工学Ⅰ | 1 | | | | 1 | | | |
| | 制御工学Ⅱ | 1 | | | | | 1 | | |
| 機械工学概論Ⅰ | 1 | | | | 1 | | | | |
| 機械工学概論Ⅱ | 2 | | | | | 2 | | | |
| 電子創造工学 | 2 | | | 2 | | | | | |
| 電気電子工学実験Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | |
| 電気電子工学実験Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | | |
| 電気電子工学実験Ⅲ | 4 | | | | 4 | | | | |
| 電気電子工学実験 | 2 | | | | | 2 | | | |
| 卒業研究 | 9 | | | | | 9 | | | |
| 修得単位計 | | 79 | 6 | 10 | 20 | 24 | 19 | | |
| 選択科目 | *電気電子応用工学 | 1 | | | | | 1 | 6単位中4単位以上修得 | |
| | *情報通信工学Ⅱ | 1 | | | | | 1 | | |
| | *現代制御工学 | 1 | | | | | 1 | | |
| | *電気電子設計 | 1 | | | | | 1 | | |
| | *電気情報工学 | 1 | | | | | 1 | | |
| | 技術者基礎 | 1 | | | | | 1 | | |
| 修得単位計 | | 4以上 | | | | | 4以上 | | |
| 学際カリキュラム | 必修科目 | プロジェクト演習 | 1 | | | 1 | | 群別に修得すること | |
| | 環境・エネルギー群 | 熱流体エネルギー概論 | 1 | | | 1 | | | 2単位以上修得すること |
| | | 電力エネルギー工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 電磁場エネルギー基礎 | 1 | | | | 1 | | |
| | | 環境科学 | 1 | | | | 1 | | |
| | | 環境保全工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 他大学等科目(学際) | | 2以内 | | | 2以内 | | | |
| | 情報・制御群 | ロボットシステム | 1 | | | | 1 | | 2単位以上修得すること |
| | | #電子計測制御 | 1 | | | | 1 | | |
| | | 情報・制御基礎 | 1 | | | 1 | | | |
| | | コンピュータ化学 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 空間情報工学 | 1 | | | 1 | | | |
| | 他大学等科目(学際) | | 2以内 | | | 2以内 | | | |
| | 材料科学群 | 機械材料 | 1 | | | 1 | | | 2単位以上修得すること |
| | | 電気電子材料 | 1 | | | 1 | | | |
| | | センサ材料工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | | 有機・高分子材料 | 1 | | | 1 | | | |
| 建設材料 | | 1 | | | | 1 | | | |
| 他大学等科目(学際) | | 2以内 | | | 2以内 | | | | |
| 修得単位計 | | 2以上 | | | 2以上 | | | | |
| 修得単位計 | | 3以上 | | | 3以上 | | | | |
| 修得単位合計(卒業認定必要単位数) | | 86以上 | 6 | 10 | 20以上 | 24以上 | 23以上 | | |
| 学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む | | | | | 70以上 | | | | |

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電子情報工学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | 学 年 別 配 当 | | | | | 備 考 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------|-----------|----|------------------------------|-----|----|---|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | |
| 必 修 科 目 | 数理統計学 | 2 | | | 2 | | | |
| | 応用数学 | 2 | | | | 2 | | |
| | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | | |
| | 応用物理Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 専門基礎Ⅰ | 2 | 2 | | | | | |
| | 専門基礎Ⅱ | 2 | 2 | | | | | |
| | 専門基礎Ⅲ | 2 | 2 | | | | | |
| | 機械工学概論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 電子工学基礎 | 2 | | 2 | | | | |
| | 電気回路 | 2 | | | 2 | | | |
| | 信号解析基礎 | 1 | | | | 1 | | |
| | 電子回路Ⅰ | 2 | | | 2 | | | |
| | 電子回路Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 電気磁気学Ⅰ | 1 | | | 1 | | | |
| | 電気磁気学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | |
| | 数値計算 | 1 | | | 1 | | | |
| | 電子材料・デバイス | 2 | | | | 2 | | |
| | 工業英語 | 1 | | | | | 1 | |
| | 情報工学基礎 | 1 | | 1 | | | | |
| | 情報基礎演習 | 1 | | 1 | | | | |
| | プログラミング基礎 | 2 | | 2 | | | | |
| | プログラミング応用 | 2 | | | 2 | | | |
| | 情報ネットワーク基礎 | 1 | | | 1 | | | |
| | 論理回路 | 1 | | 1 | | | | |
| | 計算機構成論Ⅰ | 2 | | | 2 | | | |
| | 計算機構成論Ⅱ | 1 | | | | 1 | | |
| | オペレーティングシステム | 2 | | | 2 | | | |
| | 創造工学演習 | 2 | | | | 2 | | |
| | ソフトウェア工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | 情報構造論 | 2 | | | | 2 | | |
| | 制御工学 | 2 | | | | | 2 | |
| | 通信システム | 1 | | | | | 1 | |
| 情報ネットワーク | 1 | | | | | 1 | | |
| 情報理論Ⅰ | 1 | | | | 1 | | | |
| 情報理論Ⅱ | 1 | | | | | 1 | | |
| 電子情報工学実験Ⅰ | 4 | | 4 | | | | | |
| 電子情報工学実験Ⅱ | 4 | | | 4 | | | | |
| 電子情報工学実験Ⅲ | 4 | | | | 4 | | | |
| 電子情報工学実験Ⅳ | 2 | | | | | 2 | | |
| 卒業研究 | 9 | | | | | 9 | | |
| 修得単位計 | 79 | 6 | 11 | 21 | 24 | 17 | | |
| 選 択 科 目 | *情報数学 | 1 | | | | 1 | | |
| | *人工知能 | 1 | | | | 1 | | |
| | *計算機アーキテクチャ | 1 | | | | 1 | | |
| | *デジタル信号処理 | 1 | | | | 1 | | |
| | *システム工学 | 1 | | | | 1 | | |
| | *計算機シミュレーション | 1 | | | | 1 | | |
| | *認知科学 | 1 | | | | 1 | | |
| | *データベース | 1 | | | | 1 | | |
| 修得単位計 | 4以上 | | | | | 4以上 | | |
| 学 際 カ リ キ ュ ラ ム | 必修科目 | プロジェクト演習 | 1 | | | 1 | | |
| | 環 境 エ ネ ル ギ ー 群 | 熱流体エネルギー概論 | 1 | | 1 | | | 2 単 位 以 上 修 得 す る こ と |
| | | 電力エネルギー工学 | 1 | | 1 | | | |
| | | # 電磁場エネルギー基礎 | 1 | | | | 1 | |
| | | 環境科学 | 1 | | | | 1 | |
| | | 環境保全工学 | 1 | | | | 1 | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 情 報 ・ 制 御 群 | ロボットシステム | 1 | | | | 1 | 2 単 位 以 上 修 得 す る こ と |
| | | 電子計測制御 | 1 | | | | 1 | |
| | | 情報・制御基礎 | 1 | | 1 | | | |
| | | コンピュータ化学 | 1 | | | 1 | | |
| | | 空間情報工学 | 1 | | 1 | | | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 材 料 科 学 群 | 機械材料 | 1 | | | 1 | | 2 単 位 以 上 修 得 す る こ と |
| | | 電気電子材料 | 1 | | 1 | | | |
| | | # センサ材料工学 | 1 | | | | 1 | |
| | | 有機・高分子材料 | 1 | | 1 | | | |
| | | 建設材料 | 1 | | | | 1 | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | |
| | 修得単位計 | 2以上 | | | | 2以上 | | |
| 修得単位計 | 3以上 | | | | 3以上 | | | |
| 修得単位合計 (卒業認定必要単位数) | 学際カリキュラム除く 学際カリキュラム含む | 86以上 | 6 | 11 | 21以上 24以上 21以上 69以上 | | | |

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

物質工学科

| 授業科目 | | 単位数 | 学年別配当 | | | | | 備考 | | | | |
|-------------------|------------|------------|------------|----|------|-----------------|-----------------|--|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | | | | | |
| 必修科目 | 共通 | 数理統計学 | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 応用数学 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 応用物理Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | 専門基礎Ⅰ | 2 | 2 | | | | | | | | |
| | | 専門基礎Ⅱ | 2 | 2 | | | | | | | | |
| | | 専門基礎Ⅲ | 2 | 2 | | | | | | | | |
| | | 基礎工学概論 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | | 工業英語 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | | 分析化学Ⅰ | 1 | | 1 | | | | | | | |
| | | 分析化学Ⅱ | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | 機器分析 | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | 無機化学Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | | 無機化学Ⅱ | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | 無機化学Ⅲ | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | 基礎材料化学 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | | 有機化学Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | | 有機化学Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 高分子化学 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | 有機合成化学 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | 物理化学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 物理化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | *物理化学Ⅲ | 2 | | | | | 2 | | | | |
| | | 化学工学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 化学工学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | *化学工学Ⅲ | 2 | | | | | 2 | | | | |
| | | 生化学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| | | 生化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | 生命科学 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | 情報化学Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | | |
| | | *情報化学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| | | 品質管理 | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | 物質工学実験Ⅰ | 5 | | 5 | | | | | | | |
| | | 物質工学実験Ⅱ | 4 | | | 4 | | | | | | |
| | | 卒業研究 | 8 | | | | | 8 | | | | |
| 生物工学コース | 微生物学 | 2 | | | | 2 | | コース別に修得すること | | | | |
| | 食品科学 | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| | 分子生物学 | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| | 生物工学実験Ⅰ | 4 | | | | 4 | | | | | | |
| | 生物工学実験Ⅱ | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| 材料工学コース | 材料化学 | 2 | | | | 2 | | | | | | |
| | 材料工学 | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| | 反応工学 | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| | 材料工学実験Ⅰ | 4 | | | | 4 | | | | | | |
| | 材料工学実験Ⅱ | 2 | | | | | 2 | | | | | |
| 修得単位計 | | 81 | 6 | 12 | 19 | 22 | 22 | | | | | |
| 選択科目 | 共通 | *創薬化学 | 1 | | | | 1 | コース別に、4単位(共通及びコース別開設単位数の合計)中2単位以上修得すること。 | | | | |
| | 共通 | *食料生産工学概論 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | 生物学コース | 生理学 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | 生物学コース | 栄養化学 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | 材料学コース | 応用電気化学 | 1 | | | | 1 | | | | | |
| 材料学コース | 高分子材料設計 | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 修得単位計 | | 2以上 | | | | 2以上 | | | | | | |
| 学際カリキュラム | 必修科目 | プロジェクト演習 | 1 | | | 1 | | | 群別に修得すること | | | |
| | | 環境・エネルギー群 | 熱流体エネルギー概論 | 1 | | 1 | | | | 修得すること 2単位以上 | | |
| | 環境・エネルギー群 | 電力エネルギー工学 | 1 | | 1 | | 修得すること 2単位以上 | | | | | |
| | 環境・エネルギー群 | 電磁場エネルギー基礎 | 1 | | | 1 | | 修得すること 2単位以上 | | | | |
| | 環境・エネルギー群 | 環境科学 | 1 | | | 1 | | | | | 修得すること 2単位以上 | |
| | 環境・エネルギー群 | 環境保全工学 | 1 | | 1 | | | | | | | 修得すること 2単位以上 |
| | 環境・エネルギー群 | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | 2以内 | | | | 修得すること 2単位以上 | | |
| | 情報・制御群 | ロボットシステム | 1 | | | | 1 | | | | | |
| | | 電子計測制御 | 1 | | | | 1 | 修得すること 2単位以上 | | | | |
| | | 情報・制御基礎 | 1 | | 1 | | | | | | 修得すること 2単位以上 | |
| | | コンピュータ化学 | 1 | | | 1 | | | | | | 修得すること 2単位以上 |
| | | 空間情報工学 | 1 | | 1 | | | | | 修得すること 2単位以上 | | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | 修得すること 2単位以上 | | | | | |
| | 材料科学群 | 機械材料 | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | | 電気電子材料 | 1 | | 1 | | | | | | 修得すること 2単位以上 | |
| | | センサ材料工学 | 1 | | | | | 1 | | | | 修得すること 2単位以上 |
| | | 有機・高分子材料 | 1 | | 1 | | | | | 修得すること 2単位以上 | | |
| | | 建設材料 | 1 | | | | 1 | 修得すること 2単位以上 | | | | |
| 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | 修得すること 2単位以上 | | | | | | |
| 修得単位計 | | 2以上 | | | | | 2以上 | | | | | |
| 修得単位計 | | 3以上 | | | | | 3以上 | | | | | |
| 修得単位合計(卒業認定必要単位数) | | 86以上 | 6 | 12 | 19以上 | | 22以上 | | 24以上 | | | |
| 学際カリキュラム除く | | | | | | | | | | | | |
| 学際カリキュラム含む | | | | | | 68以上 | | | | | | |

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

環境都市工学科

| 授 業 科 目 | | 単位数 | 学 年 別 配 当 | | | | | 備 考 | | |
|--------------------------------------|-------------|------------|-----------|----|------|------|------|--------------------------|-------------|-------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | | | |
| 必 修 科 目 | 数理統計学 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 応用数学 | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 応用物理Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 応用物理Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 専門基礎Ⅰ | 2 | 2 | | | | | | | |
| | 専門基礎Ⅱ | 2 | 2 | | | | | | | |
| | 専門基礎Ⅲ | 2 | 2 | | | | | | | |
| | プログラミング | 1 | | 1 | | | | | | |
| | 数値解析 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 構造力学Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | |
| | 構造力学Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 構造力学Ⅲ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 鋼構造学 | 2 | | | | | 2 | | | |
| | コンクリート構造学Ⅰ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 建設材料学Ⅰ | 1 | | 1 | | | | | | |
| | 建設材料学Ⅱ | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 建設複合材料 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 水理学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 水理学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 河川水文学 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 地盤工学Ⅰ | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 地盤工学Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 環境衛生工学 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 建築環境Ⅰ | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 建築設備Ⅰ | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 測量学 | 2 | | 2 | | | | | | |
| | 応用測量学 | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 環境都市計画論 | 2 | | | 2 | | | | | |
| | 交通工学 | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 施工管理学 | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 建設法規 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 構造デザイン | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 建築計画Ⅰ | 1 | | 1 | | | | | | |
| 建築計画Ⅱ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| 環境都市工学設計製図Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | | |
| 環境都市工学設計製図Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| 環境都市工学設計製図Ⅲ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| 環境都市工学設計製図Ⅳ | 2 | | | | | 2 | | | | |
| 環境都市工学実験実習Ⅰ | 2 | | 2 | | | | | | | |
| 環境都市工学実験実習Ⅱ | 2 | | | 2 | | | | | | |
| 環境都市工学実験実習Ⅲ | 2 | | | | 2 | | | | | |
| 卒業研究 | 9 | | | | | 9 | | | | |
| 修得単位計 | 79 | 6 | 11 | 20 | 23 | 19 | | | | |
| 選 択 科 目 | *地盤防災工学 | 1 | | | | 1 | | 13 単位中 4単位 以上修得 | | |
| | *地震工学 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *コンクリート構造学Ⅱ | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *地域都市計画 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *海岸工学 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *メンテナンス工学 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 建築史 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | 建築意匠 | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *建築環境Ⅱ | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *建築設備Ⅱ | 1 | | | | 1 | | | | |
| | *建築計画Ⅲ | 2 | | | | 2 | | | | |
| | 環境都市工学設計製図Ⅴ | 1 | | | | 1 | | | | |
| 修得単位計 | 4以上 | | | | 4以上 | | | | | |
| 学 際 カ リ キ ュ ラ ム | 必修科目 | プロジェクト演習 | 1 | | | 1 | | 群別に修得すること | | |
| | 環境・エネルギー群 | 熱流体エネルギー概論 | 1 | | 1 | | | | 2単位以上修得すること | |
| | | 電力エネルギー工学 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 電磁場エネルギー基礎 | 1 | | | | 1 | | | |
| | | 環境科学 | 1 | | | | 1 | | | |
| | | 環境保全工学 | 1 | | | | 1 | | | |
| | | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | | |
| | | 情報・制御群 | ロボットシステム | 1 | | | | | 1 | 2単位以上修得すること |
| | | | 電子計測制御 | 1 | | | | | 1 | |
| | | | 情報・制御基礎 | 1 | | 1 | | | | |
| | | | コンピュータ化学 | 1 | | | 1 | | | |
| | 空間情報工学 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 他大学等科目(学際) | | 2以内 | | | | 2以内 | | | |
| | 材料科学群 | 機械材料 | 1 | | | | 1 | | 2単位以上修得すること | |
| | | 電気電子材料 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | センサ材料工学 | 1 | | | | 1 | | | |
| | | 有機・高分子材料 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | #建設材料 | 1 | | | | 1 | | | |
| | 他大学等科目(学際) | 2以内 | | | | 2以内 | | | | |
| | 修得単位計 | 2以上 | | | | 2以上 | | | | |
| 修得単位計 | 3以上 | | | | 3以上 | | | | | |
| 修得単位合計(卒業認定必要単位数) | 学際カリキュラム除く | 86以上 | 6 | 11 | 20以上 | 23以上 | 23以上 | | | |
| | 学際カリキュラム含む | | | | 69以上 | | | | | |

*：学際連携科目 #：専門選択科目に単位振替可能 (単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)